



第12号

発行 旭区高殿5-6-41 大阪府立旭高校同窓会 発行人 西中紀博 編集 旭窓会報編集委員会 印刷 サンライト (36) 3505 0723 (34) 1832

8月5日(土) 於心齋橋 大成閣

同窓会総会・懇親会

同窓生の皆さん、社会で、同窓会もようやく「大人」学校で、御家庭で、それぞれ御活躍の事と思ひます。さて、本年は前回総会から三年目を迎え、会則により総会を開催する年になりました。四月以降役員会で検討してまいりましたが、左記の日程で総会を開催することになりました。

挨拶

会長 西中紀博

お久しぶりでございます。皆さん御健勝のことと思ひます。本年の総会は来る八月五日に開催することとなりまして、五十周年の総会以降には、昨年同窓会名簿の発行が為され、この時には顧問の先生方、役員並びに会員諸氏の絶大なる御尽力によりまして、無事、しかも立派な仕上げとなり、皆さんのお手元にお届けすることができました。それ

退職にあたり

学校長 中島直巳

卒業生の皆さん方がお元気で広い分野に凡って活躍されておりますことを先ずもって心よりお慶び申し上げます。母校旭高校も今や名実共に府立高校の中堅名門校として皆さん方から受けつぎました伝統を年々良い方向へと伸ばしつつあります。ことを御報告出来たこと、誠に幸と存じております。さて私こと去る昭和五十年当校に着任いたしました。御座いました。誠に短い年月で御座りましたが充実した毎日を送らせて頂き、去る三月末日を以て退職いたしました。

同窓会を大切に

前教頭(西浦高校) 松村督之

私が旭高校に着任したのは昭和二十八年四月一日のことでした。教職員は校長以下二十数名、学級数は二年四、一年五、併せて九学級。校舎は旧高殿小学校本造校舎南隣の四教室と管理室、及び旧兵舎五教室、その年の九月に現在の南館一棟の完成と同時に移転したのでした。今私は府立西浦高校(第一八高校)の校長です。旭高校(第四十八高校)から数えて実に七十年、四分の一世紀を旭でお世話になった者にとつて全く感慨無量です。私はわが校に努力を続けて来ましたが、真摯な態度で学習に取り組んでくれた生徒諸君一人一人の真剣な姿を忘れることはできません。人生に於いては、今後何かと本会のために御鞭撻賜りますようお願いいたします。

同窓会とは...

教頭 橋岡光隆

皆さん、お元気ですか。早いものです。私の旭高校生活も十七年目を迎えました。その間、主として物理の授業を通じてお付き合いさせて頂いた皆さんが、そのほかに、十二期生、十五期生、十六期生、十九期生、二十一期生の方々とは、担任という立場でよくに親しくさせて頂いてまいりました。いま、静かに目を閉じますと、その時々皆さんの笑顔が懐かしくスポットライトの中に浮かび上がります。私もお蔭で充実した毎日を送り、今日も元気で勤めさせて頂いております。さて、私こと、このたび松村先生のお受けを承り、

ごあいさつ

学校長 井上良治

本年四月の異動で、中島直巳先生の後任として、当校の校長を命ぜられました。故郷の学校に帰った感じが強くしています。現在の高校教育は、中学校卒業生の九十パーセント以上の生徒を受け入れ、過去の高校教育からは質的な変換をしなければならぬといわれています。学習指導、生活指導、進路指導等について数多の問題点が見られ、この解決のため教員も生徒も真剣に取り組んでいかなければならぬ。幸い、本校は他の学校に比し中堅年令層の練達された

恩師からの便り

生物の授業を思い出して

大阪府立門真西高等学校長
富永公一

昭和二十七年九月付で私時代の十八年間、生物学には旭高校の教諭を命ぜられました。それまでは大阪市立女専の助教として植物学にとりこんでおりました。友人の沢田和佐君（現在大阪府立南高校長を経て文部省に勤務）が再々自宅を訪れて遂にどきおとされたわけです。

さて、私の旭高校での授業について今思い出してみようと、一期生より三期生時代までの私の授業はともかく教科書はあつてなしの如く、常にプリントを渡したものでした。多い年で五〇枚も渡してあります。

よく事務室からも紙を節約するようにと、注意を受けたりもした。又、授業中にはよく英語をつかいました。ドイツ語もラテン語もよく出たものですね。又、その横文字が当時楽しく印象深かつたのではないかと、思います。私に教わった卒業生の諸君、今、あのとこのノートを出してみたら、ともかく、分らない横文字があちらにも、こちらにも散在しているのを発見するでしょう。Homo sapiens, Canis familiaris, などとはなつかしいですね。ユングウノオトヒメサマノモトユイノキレハシ、スグリシロエダシヤクトリガ、おぼえていますか。今、考えてみると私自身、旭高校

「去り行くまま」

したが、科目名も、一般社会、社会科学、政治経済と変わり、その間、世界史、倫理社会も担当しました。昭和五十年には、学校在籍のまま大阪府教育委員兼指導第一課の指導主事として、行政的な仕事にタッチすることになりました。教壇を下り現場をはなれて三年、その間、毎月一回は給料をもらいに学校には行っていません。

ところが昭和五十二年には大阪府立布施高等学校定時制課程教頭の辞命をもらい、ついに「旭」とは縁がなくなりました。

旭の思い出

高橋京平

昭和二十九年埼玉県公立高校より旭に赴任して以来、五十一年度の春新設の府立東百舌鳥高へ転任するまでの二十二年間、大過なく勤め果せることができたことを感謝している。私が六十才まで教員生活にいたると仮定すれば、旭での勤めはその約六〇%に当たることになる。それだけに旭を去った現在、限らない愛着と思慕を覚えるのは当然である。数々の思い出のなかから、その一端を振り返ってみたい。私が旭に赴任した年は、三箇学年が揃った最初の年でもあり、その意味では歴史的な年でもあったが、施設、設備においてはまだまだ不十分であった。雨が降れば城北運河の水が排水管を逆流して運動場に溢れ、湖沼同然であった。季節には運動場で夜通し蛙

切れてしまいました。「旭」に赴任する前は、中学校で三年勤めましたが、なんといつても、二十二年間いっゆる「旭」での思い出はつきるものではありません。先日、三期生の私のクラスと同窓会に出席させてもらいましたが、皆、立派に成長して堂々たる社会人になっていて、本当になつかしく思いました。

昭和50年度～52年度同窓会会計報告

わが家も長男が医学生、二期生時代の思い出を語りつづけることにはできない。今年度は三年に一度の総会の年でもある。総会やクラス会で懐かしい諸君とお会いできることをこよなく楽しみにしている。その時に、また語り続けようではないか。最後に同窓会のご発展と卒業生諸君のご健闘を心からお祈りする次第である。

私53才の老骨になつてしまふだろうと思ひます。皆さまのご支援とご協力を賜りますよう切望します。それぞれの時代の人達におもいをせながら筆を走らせてきましたが、やっぱり顔を合せ、膝をつめ、胸を叩いて語りあいたいとおもいます。できるだけ早い機会に同窓会をもって下さい。楽しみにしています。

ある大企業を訪問したとき、人事部長が「旭は私立ですか」と問われた侮辱的な言葉に、心から怒ったものである。新設校とはいえ、将来に夢を託している旭を何と思つているのかと、じだんだを踏む思いをしたのである。旭が既設の先輩校に伍して順調な歩みをつづけるか見えた矢先、三十四年に動評闘争の拠点となり、閉鎖な学舎が大荒れした。当時在職していた職員の一入として、これを防ぎ得ず在校生や卒業生に大きな迷惑をかけたことは、まことにすまないことであつたと述懐している。

鬼の板東と呼ばれたが？
板東良二

保健体育科 長瀬静子

卒業生の皆さん今日は、連日の暑さにもめげず元気な各方面にて御活躍の事と推察いたしております。購師の時を入れまして一年間、旭高校で教師生活を誠に楽しく送らせていただいた事を大変ありがたく思っております。振り返ってみますと、旭高校に奉職しましたのは昭和四十二年、ちょうど十四期生の生徒諸君が三年生の時だったと、今でもハッキリと記憶して

林

私が「旭」に赴任した昭和二十八年といえ、まだ和二十八年といえ、まだ校舎もなく運動場らしき所も雨が降れば一面に水たまりができて、夏には蛙の音がやかましいくらいでした。むろん「旭」という校名もなく、今でも校章にその名残を残してはいますが、大阪府立第四十八高等学校という仮称のままです。隣の高殿小学校に仮住まいをし、とくに一年生は兵舎のような教室で、中央に廊

期・クラス会 便り

二期会

二期卒業生は「二期会」をつくって本年で八年目になります。昨年五月に、なにわ会館で会合を開きました。当日は在校当時の担任の先生であった橋先生、松村先生、高橋先生、左近先生が出席して下さり、高う」と約束して帰路につき校時代の思い出、また「い

番の夜はとて安眠に程遠かった。体育の時間に草取りや石拾いをさせられたことを思い出す人も多いであろう。赴任した年二期生の二年四組の担任を仰せ付けたが、夏休み中に三年二期の担任K先生が突然兵庫に転出されたので、二期からその学級の担任として横すべりを命じられた。大阪の地に来てまだ日が浅く、土地感もないし、上方の人情も理解できないまま年度途中での担任替えにはいささか面喰った。当時は

「八期生会」の誕生と成長

総会を三年に一回とし、各期会を持つという旭窓会本部の方針が打ち出されて久しいが、その半面、各期とも発足の動きがないようでした。八期生の一部でも「同窓会の少ないのは寂しい」との声もありました。期会の発足には結びつきませんでした。卒業して約十年余り、職場でも忙がしく、家庭生活でも子供に手のかかる年代です。とても期会結成への努力には手が回りかねていたのでした。

昭和五十年に「とに角第一回目を開こうではないか」との声で有志が集まり、準備作業に入りました。会場予約、名簿の確保、案内状の印刷、発送等々忙がしい中にも不安と期待の入りまじった毎日でしたが、発会式にこぎつけました。

の当時熱り立っていた諸君その後どうしているのでしょうか……二十期の理想コース男子諸君ばかりの学級担任を最後として、旭の想い出を閉じた。毎年二期会とともにこの二十期生の息子たちがクラス会を欠かさず催してくれているので万障くり合わせて出席している。

ただ今、二十五才!

十八期生 日下部 博一

私たちが十八期三年五組。昭和四十七年に母校「あさひ」を卒業し、担任松村監督の先生を組長に旭窓会系松村組を結成し早や六年半が経過しました。そして、今年私たちは二十五才になりました。

お兄ちゃん、お姉ちゃんと呼ばれるとうしろめたくなり、おじちゃん、おばちゃんでは少し抵抗がある。そんな年代です。二十五才といえれば何かのCMではありませんが「お肌曲がりかどい」でも、曲がりかどいきているのは、お肌だけではなさそうです。今の私たちのクラスを側面から眺めてみますと……男子、仕事も決まり学生気分もやつと抜け二割が世帯持ち。女子、半数の姓が変わり電話の向こうからは子供のはしゃぐ声。残り半分は、それを横目で見ながらの独身貴族。居住範囲も以前の第二学区(私たちは昭和四十四年入学)から大きくはみ出て、奈良・東京・島根県では、アフリカのアルジェリアまで行くこと

つづいた学生運動なども、今となつては、どれもこれもなつかしい。やがて時代も変わり、人も変わり、昭和33年に建てられた体育館も生徒数と大きさと不一致や老朽化もあつて、とりこわしがまきまり、53年度中に新体育館(競技面積一〇八〇㎡)建設されます。

実習に来て

二十一期生 重森 由美

皆様いかがお過ごしですか。今、旭高校に教育実習に来ています。今年の実習生が二十一人もいて、ちょっとした同窓会気分です。初めの内は、とてもなつかしい思いで、先生方の授業を見させていたでいて、だいたいおもしろくなつてきました。旭の生徒は、いい子ばかりです。私の授業でも、眠いのをこらえて一生懸命聞いてくれています。

私、この同窓会のお世話をさせてもらっています。特に気をつけている点があります。それは先述の通り、組員の動向が激しい現在、これを正しく把握して常に最新の情報を確保しておくという事です。そのため、ふだんから組員同志の連絡を密にし、幹事会を定期的に行っています。結果、いつでも、どんな遠方にも全員に連絡できる体制が整っています。こんな状態で、結婚式や米転の際に祝電を打ったり記念品を贈ったりキメの細かい同窓会活動を行なっています。

動いたしました。この学校は今年新設で、産声をあげたばかりの学校です。旭高校での教師経験を生かして、微力ながらもフレッシュな気持ちで学校づくりに参加していきたいと考えております。

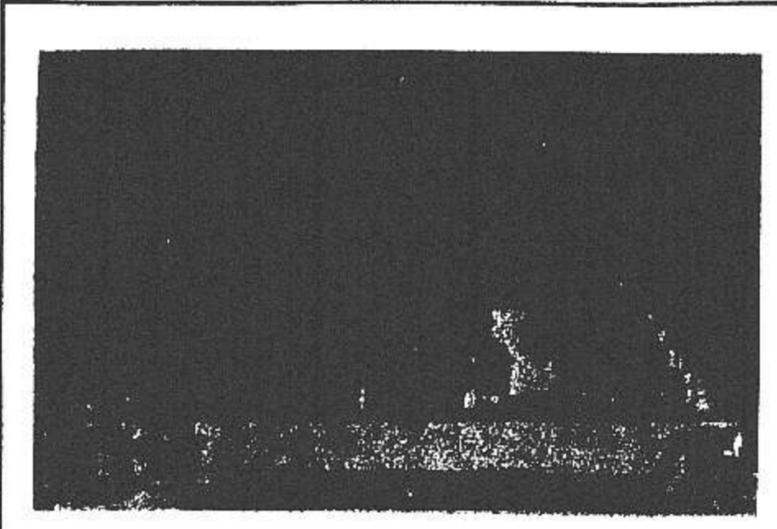
体育館が新築されます

現在の体育館は、建てられてから二十年になり、傷みがひどいので、生徒増の関係で、狭くなったので、現在の体育館を、撤去し、新しく建て直されます。現在の約一・七倍で、二階は、競技場一〇八〇㎡(バレーコートが二面)兼講堂で、ステージ、ミキサー室付きで、収容人数は約一五〇〇名です。一階には、剣道場、柔道場、下足室、男女更衣室が出来ます。完成は、来年三月末です。

が、変わらぬのは必ず先生になるんだという気持ち……。そして何年経っても「目に輝き」をもった先生でいたい。たとえ先公と呼ばれても、生徒がいつか自分の存在を必要と感じる時があればそれでいい。一方でそんなつらい役柄だが、それが人間同志の偶然のめぐり逢いからくる「喜び」なんだと信じてやまない。



「体育館が新築されます」



二期会 S52. 5. 22 於なにわ会館

昭和五十年十一月三十日(日)

参加者は旧担任の恩師をお迎えし総数約六十名。久し振りにみる友人達、御歳をぬかれた恩師の方々。話しは学校生活の思い出から、

「八期生会」の会合をこの日(日)に開催し、二次会として開く予定をしております。八期生諸氏のご参加とご連絡をお待ちしております。

昭和五十年十一月三十日(日)

参加者は旧担任の恩師をお迎えし総数約六十名。久し振りにみる友人達、御歳をぬかれた恩師の方々。話しは学校生活の思い出から、

昭和五十年十一月三十日(日)

参加者は旧担任の恩師をお迎えし総数約六十名。久し振りにみる友人達、御歳をぬかれた恩師の方々。話しは学校生活の思い出から、

昭和五十年十一月三十日(日)

参加者は旧担任の恩師をお迎えし総数約六十名。久し振りにみる友人達、御歳をぬかれた恩師の方々。話しは学校生活の思い出から、

昭和五十年十一月三十日(日)

参加者は旧担任の恩師をお迎えし総数約六十名。久し振りにみる友人達、御歳をぬかれた恩師の方々。話しは学校生活の思い出から、

昭和五十年十一月三十日(日)

参加者は旧担任の恩師をお迎えし総数約六十名。久し振りにみる友人達、御歳をぬかれた恩師の方々。話しは学校生活の思い出から、



音楽部

(合唱パート)

音楽部合唱パートは既に一期生の頃から活動を始めており、数年前までは音楽部は合宿だけだったのですが、ブラスバンドも加わり現在ではパートと名のついでいます。

ここ数年の活躍といえ、51年11月3日奈良文化会館で開催された第31回関西合唱コンクールで銅賞を獲得したことです。52年度は賞は取れませんが毎年対内的には新入生歓迎会、文化祭等、対外的には合唱祭やコンクール等を目標に日々の練習に励んでいます。部員は50名程度で男子が十数名で女性優勢ですが争いもなくわきあいあいとしてやっています。

野球部

我が野球部は現在、一年間の総決算であり三年生にとつては最後の夏の大会のために全員一丸となつて、練習に励んでいます。時間制限があるとか、体育館などで直しのためグラウンドの使用が極端に減るとかで、すみずみまで洗練されたすばらしいチームにするのはすこし困難ですが、たらないところは気力と根性でおぎなう。これが公立高校の野球だと思えます。そして僕たちはただ勝ち負けだけを考えているのではないのです。人にはそれぞれ青春の生き方があります。バイクで突走る者もいればGFと楽しく過ごすものもいます。又勉強こそ生きがいだというものもあるでしょう。そして僕たちはこの青春を一つの白球にかけたんです。苦しい練習に耐えてきた毎日、一つの勝利、敗北では押しはかれない貴重なものです。結果よりも過程を大切にしよう。というのが僕たちの合言葉です。七月十六日にはいいよ万博球場で藤井寺高校と対戦です。多数の御声援をお願いします。

剣道部

6月11日のインターハイ予選もまずまずの結果に終わった。ふり返ってみると長いようで短かった。3年間ずつと苦しい練習に耐えてきて、優勝あるいは入賞できなかったと言えはそれまでだけど、僕はここまでやってきたその成果は優勝よりも、もつと美しく貴いものだと思います。つらくてやめようと思ったことも個人個人あると思うけど、3年間やり通したという自信は大きいと思う。これはすべての運動部文化部にも通じると確信しています。

テニス部

我がテニス部は、部員30人という多人数であるのにコートが一面しか使えず、時間も短いので、内容の濃い練習を心がけています。しかも現在、体育館建てなおしのためにグラウンドが使用できず旭コートも使用しては

水泳部

クラブ番号二二二である水泳部は、現在部員が男子10名、女子14名の計24名です。我々クラブの主な活動として、一年を二期に分け、10月から4月までを陸上トレーニング期、5月から9月までを水中トレーニング期にあて、前者は、ランニングによって足腰、サーキットによって各部位の筋肉の強化が主体となり、又春期に入ると温水プールによる水中トレーニングも行なわれます。後者では、初期の間に水に慣れることか

母 校 人 事



昭和五十一年度から五十二年にかけて、次の諸先生方がそれぞれ転出されました。

五十一年度

氏名 転出先
山田耕作 国語 野崎高
高橋京平 社会 東百舌鳥

五十一年度

氏名 転出先
中村行雄 社会 布施高
内垣進一 理科 豊島高
中瀬敏彦 体育 豊島高
小出 猛 英語 池田高
前川富子 英語 三島高
速水高春 事務長 退職
山本元一 技師 退職

五十二年度

和氣史郎 芸術 退職
柏野健次 英語 樟蔭女子
高岡京子 家庭 大手前高
山口義明 理科 牧野高
大西哲夫 数学 東淀川高
二宮金吾 社会 茨木西高

五十三年度

中島直巳 学校長 大経大
松村督之 教頭 西浦高
吉田永宏 国語 関西大
若谷三男 数学 天王寺高
金森健一 国語 門真西高
板東良二 国語 西浦高
中田勝哉 国語 久米田高
鈴木郁子 養護 南寝屋川高
北野敏彦 主査 阿倍野高

以上の先生方の転出に伴い、次の諸先生方が転入されました。

五十一年度

氏名 転任校
吉田永宏 国語 布施高
内田義弘 社会 桃山学院

五十一年度

三義善英 社会 新任
中口敬一 理科 新任
矢部吉英 保健 新任
安本 毅 英語 三島高
森本佳司 英語 新任
寺内仁枝 事務長 大阪厚生学院

五十二年度

西川 豊 社会 勝山高
黒田進一 数学 三島高
鶴柄正昭 数学 新任
辻下順一 理科 新任
桐山成人 芸術 新任
元永裕子 英語 新任

五十三年度

井上良治 学校長 長尾高
石井俊郎 理科 農芸高
西村澄子 国語 新任
生島悦子 国語 新任
萩田竜三 数学 新任
小林和夫 保健 新任
松本清豪 保健 新任
松村八千代 英語 新任
多田博子 養護 日新高
長谷川正夫 主査 成城工高

お知らせ・お願い

財政ピンチ 御援助を!

母校もまもなく創立三十周年を迎え、卒業生の数も九千名を超える状況になりました。同窓会の運営資金は、他校では入会金以外に年会費を徴収したり、寄附金を募ってまわっています。旭の場合、今までは卒業生も若いということもあって卒業時の入会金以外(現行千円)は一切いただいておりません。

卒業生を一回送り出すと四五万円ほど入会金がいりませんが、それに対し一度同窓生に会報を郵送するだけで(九千人として)四五

万円必要です。(印刷代、封筒代、諸費用は別で)

このような状態では、会を存続することができなくなり、今年からは新しい体育館も落成しますが、同窓会として何も出来ない有様です。役員会で検討を続けました。役員会で検討を続けました。役員会で検討を続けました。

郵便局より振り込んでいただく際振込用紙の通信欄に貴殿の会員番号(封筒の裏の番号)または卒業期を明記下さい。

さらに、友人等で異動のあった方を御存知でしたらお知らせ下さい。

以上よろしくお願ひします。

●六期生以上十期生の方は四口

●十一期生以下の方は二口

以上を目的によりお願ひいたします。

●一口 五〇〇円

●五期生以上の方は六口

振込用紙を同封しましたので、左の基準を参考に、是非御協力をお願いする次第です。

●一口 五〇〇円

最近の進路状況

●進学者の内訳、合格者数

[国公立大学]	51年度	52年度	53年度
東大	1	0	1
阪大	1	1	3
筑波大	1	0	1
神戸大	4	5	5
大阪市大	10	6	1
府大	11	12	7
教育大	12	23	7
外大	4	5	1
女子大	0	1	1
奈良大	27	27	10
計	71	80	54

[私立大学]	51年度	52年度	53年度
関大	9	8	7
西大	4	15	20
志大	9	31	34
立命館大	4	23	19
南大	1	9	15
早稲田大	1	1	1
京都大	2	18	18
計	437	280	291

●就職者の内訳

	51年度	52年度	53年度
製造業	3	8	5
サービス業	2	1	6
金融業	8	9	3
電気業	2	3	2
公務員	4	15	8
計	19	36	24

編集後記

素人四人で「旭窓会報」の編集をはじめた。はじめは、どんな内容にするかというところで、なかなか進まなかったが、前号が同窓生

の活躍の様子を知らせる内容を中心に編集したので、今回は、母校の様子や恩師の近況について多く書いていただいた。

母校も三十周年が目前に近づいた。特集号の編集も考えねばと話し合っている。

(編集委員会)



その他

●昨年大変な苦勞をして名簿を完成しましたが、転居先や住居表示の変更、結婚による改姓等連絡がなく、まだまだ空白が残っています。さらにその後の転居等もあるようで、会報が返送されてくるケースも多くなっています。変更のあったときは必ず母校同窓会係宛連絡をして下さい。

●各期の幹事や世話役の方は、期会やクラス会を催したとき、計画をしたときは、本会あて、その概要を是非お知らせ下さい。旭窓会報で紹介いたします。これは、

他の期の人々にも読まれ、会がさらに活発になる要因ともなります。

●本会事務局は母校の辻本信美先生に御苦勞を願っています。卒業生も九千人をこえ、事務局の仕事は莫大な量です。母校に近接する会員の方で、お手伝いをしていただける方がおられます。是非お知らせ下さい。旭窓会報で紹介いたします。

●御希望の方は現金書留で直接母校同窓会係まで申しこみ下さい。一部二千元です。(送料含)

●各期別(一期〜二期)の索引付(五〜四ページ)がまだ一〇〇部余残っています。

名簿残部あります

●御希望の方は現金書留で直接母校同窓会係まで申しこみ下さい。一部二千元です。(送料含)